

わ
っ

WAKKA

か

鳥取市のまちなかを
応援する情報誌

2026

SPRING

vol.

58



特集 誰かと、何かと、つながって。

FREE
ご自由にお取り
ください

誰かと、何かと、つながって。



外村海さん

藤田昌宏さん

人生は、おもしろい。ふらっと入った店で「誰か」や「何か」に出会い、その出会いが好奇心をくすぐったり、趣味が増えたり変わったりする。大げさに言えば、将来の夢が変わることだってある。そんな偶然を楽しめる場所が、まちなかに昨年、生まれた。大阪府出身の藤田昌宏さんと、熊本県出身の外村海さんが営む「お菓子と器と et-to(エト)」だ。「来てくれる人が感じるままに過ごしてもらえたら」。そんな余白を大切にふるふたりのもとを訪ねた。

縁もゆかりもない場所へ

大阪府の大学院で建築を学んでいた藤田さんと、熊本県に住んでいた外村さん。遠距離で行き来を続けていたふたりの転機となったのは、三年前、藤田さんの就職だった。

「図面に向かうよりも、自分の手でものづくりがしたくて。鳥取市で家具製作や店舗内装を手がける工作社を紹介され、代表の本間さんと出会いました。鳥取がおもしろそうだと感じて、『来る?』と聞かれたので、即決しました」(藤田さん)

それが鳥取との縁の始まりで、やがて外村さんもこのまちに惹かれていった。



言葉にしました。いろんな人ここに来てもらって、人と人がつながり、ここからまたどこかへ広がっていく。そんな場所になれたらと思っています」(外村さん)

まちなかを選んだのにも、理由がある。

「鳥取には車がないと行けないお店も多い。でも、学生にも気軽に来てもらいたくて。高校を卒業して県外に出る前に、何かの刺激になる空間になれたらうれしいです」(藤田さん)

初めての土地での開業に、不安がなかったわけではない。それでも、いまは人とのつながりに支えられていると話す。

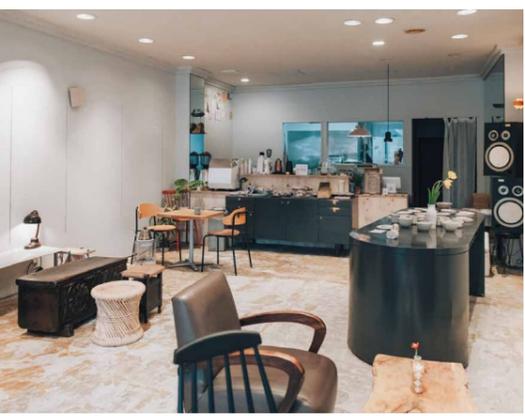
「周りのお店の人も喜んでくれて、毎日のように、紹介で来てくれるお客さんがいるんです。みんなで盛り上げていこうという空気感がある。それが

「大阪の西田辺に住んでいたとき、自営業でかっこいい大人たちの姿を見て憧れていました。『いつか自分も』と思ってはいたんですが、鳥取に来て、『なんかできるんじゃないか?』と思い始めて。じゃあやっちゃえ、って」(藤田さん)

「好き」を掛け合わせた空間

米町にある、かつて洋服店だった空き物件を改装。もともとの建築が持つやわらかな曲線や、残されていた什器も生かした。テーブルや椅子は、これまでに二人が買い集めたものや、藤田さんの自作家具も。ふたりらしい空気感をまとった店が生まれた。

「新しい風も取り入れていて、だけど、まちになじんでいるような。店名



につけているように、お菓子やコーヒーがあって、それに器もある。自分たちの好きなものをいいとこ取りした、そんなお店ですかね」

そう言って、外村さんはやわらかく笑った。店内には、小さな頃から陶器市に行くのが好きだったという彼女が選んだ熊本の「TONGUE」や湯梨浜町の「フベン」の作品も並ぶ。その器にそとと載せられる、素朴でやさしい味わいのケーキや焼き菓子。ほっと心が落ち着けるひとときを提供している。

「ここはカフェと言い切りたくないですね。器も売っているし、イベントも行う。来てくれる人の目的や感じ方によって、それは相手に委ねたい。突き放す意味ではなく、それぞれの感性の受け皿となるような場でありたいですね」(藤田さん)

つながりときっかけを生む

「et-to」という店名には、ひとつの想いが込められている。フランス語の「et」は接続詞で、英語で言えば「and」。「to」は日本語の「と」とも読めるし、英語の「to」(トゥ)で「〜へ」「〜から」という意味も持つ。

「三つの言語で『つながる』を表す

「私の場合、人の印象のほうが強いんです。鳥取の人って控えめだけど、殻を破ると中にもおもしろいものをたくさん持っている。なのに、でしゃばらないところもあって、なんて素敵なお店なんだらうと思います」(外村さん)

中学生の頃からお菓子作りを学び、自分の店を持つために修行の期間を過ごしていた外村さんも鳥取に移住。藤田さんは工作社で働き、外村さんはポップアップイベントに出店。そんな日々の中で、「ふたりの店を持つ」という夢が現実味を帯びていった。



「本店にうれしいですね」(藤田さん)

「お店をするようになって、日々まちの見え方が変わっていきます。みなさんの暮らしの中にet-toを取り入れてくださっているのを感じて、毎日うれしいなあ」と(外村さん)

今後について尋ねると、「やりたいことがたくさんある」と声をそろえる。地元をつなかりを生かしたイベント、本屋、ワークショップなど、来てくれる人の心に、小さなきっかけの種をまきたいという。

誰かと、何かと、つながって……。人生は、こういう場所から動き出すのかもしれない。

お菓子と器と et-to(エト)

鳥取市栄町209

営業時間:

平日 12:00-19:00

土日祝 12:00-18:00

定休日:火・水曜日

※営業日・時間ともに模索中。Instagramストーリーズを要チェック!



まちなかの移動にシェアサイクルを
ご利用ください!

鳥取市シェアサイクル HELLO CYCLING ハローサイクリング

- 電動アシスト自転車でラクラク移動
- 24時間いつでも利用可能です!
お花見・まちなか等での買い物にぜひご利用ください!
※ご利用には専用アプリのダウンロード・会員登録が必要です。
※利用料金やステーションの場所はアプリ内で確認ください。
- サイクルステーションは鳥取市役所本庁舎・風紋広場・鳥取銀行本店・山陰合同銀行鳥取営業部・わらべ館・鳥取城跡(鳥取県庁)などに設置されています。
※サイクルステーションであればどこでも貸出・返却OK
- このほか、詳しくは「HELLO CYCLING」ウェブサイトをご覧ください。



アプリの
ダウンロードは
こちらから



問合せ先:アプリ内の「ヘルプ・ご利用ガイド」の「お問合せフォーム」よりお問合せください。

【わか設置提携店】(2026年4月現在)

- ①こむ・わかさ、②五臓圓ビル、③鳥取画材、④上田ビル、⑤NOLLY&THENATURES、⑥絹の館サービス呉服店、⑦不真面目商店、⑧SHEEPSHEEP BOOKS、⑨トリんくまんまる・tottoriカルマ、⑩caféSOURCE、⑪ファミリーマートパレットとっとり店、⑫nee-mart瓦町本店、⑬まちバル鳥取、⑭みふくや、⑮Marching bldg.、⑯鳥取市移住・交流情報ガーデン、⑰谷岡薬局、⑱オーガニックスタイル水越屋、⑲ギャラリーそら、⑳ジュースパーめじろ、㉑Y Pub&Hostel、㉒丸由百貨店、㉓イオン鳥取店、●鳥取銀行・鳥取信用金庫、●まちなかの郵便局、●まちなかの公共施設等、●隼lab.(八頭町)

WEB わか WAKKA

WEBサイト・SNS
でも情報発信中!



WEB わか ④ わか〜鳥取市まちなか情報〜 @wakka_tottori

わか58号取材先MAP



[表紙写真] 『お菓子和器と et-to』にて、外村 海さん(左)と藤田 昌宏さん(右) 撮影/藤田和俊